

A形、B形、D形選定

● 負荷係数

負荷条件 運転時間	均一荷重	軽衝撃荷重	重衝撃荷重
～10時間/日	1.0	1.3	1.6 ^{**}
24時間/日	1.1	1.5	2.0 ^{**}

注) 衝撃のピーク値が150%をこえる場合には、
ご照会ください。

バイエル無段変速機は均一荷重、1日10時間の運転条件のもとに、設計されています。したがって一般のほとんどの用途には、そのままご使用いただいて差支えありませんが、使用機械の負荷条件によっては、負荷係数を見込む必要があります。

下記のような特殊な条件で運転される場合には、それぞれの負荷条件に応じた負荷係数を見込む必要がありますのでご照会ください。

- (1) 始動停止が頻繁な場合
- (2) 負荷慣性モーメントが大きい場合
- (3) 負荷変動が大きい場合
- (4) 急激な停止を伴う場合

全負荷の状態、または、負荷慣性モーメントの大きいものを始動する時は、必ず低速側で始動するようにお願いいたします。通常時の運転時についても低速側で始動することをおすすめします。

特に負荷慣性モーメントが大きい場合は、クッションスタートが必要となる場合がありますのでご照会ください。

また、プレミアム効率モータ（トップランナーモータ）は従来のモータと比べて始動トルク、停動トルク（最大トルク）が大きくなるため、負荷慣性モーメントが大きい場合には、ピーク値が従来モータよりも大きくなります。このような場合は弊社までご照会ください。

● Vプーリ選定表

両軸形のVプーリ駆動について

両軸形の機種をプーリ駆動する場合には、入力軸には、下表のプーリより径の大きなプーリを取付けてください。

A形

バイエル 枠番	プーリ 呼び径	形式	溝数
N02A	100	A	1
N05A	125	A	1
N1A	150	A	1
N2A	150	A	2
N3A	180	A	2
N5A	180	B	2
N8A	224	B	3
N10A	224	B	3
150A	560	8V	4
200A	560	8V	6

B形

バイエル 枠番	プーリ 呼び径	形式	溝数
N02B	100	A	1
N05B	125	A	1
N1B	150	A	1
N2B	150	A	2
N3B	180	A	2
N5B	180	B	2
N8B	224	B	3
100B	500	8V	4
150B	560	8V	4

D形

バイエル 枠番	プーリ 呼び径	形式	溝数
N05D	125	A	1
N1D	150	A	1
N2D	150	A	2
N3D	180	A	2
N5D	180	B	2
N8D	224	B	3
N10D	224	B	3

注) プーリ形式の詳細は、JIS B 1854-1987およびJIS B 1855-1991をご参照ください。

● ブレーキ仕様

モータブレーキや入力側にブレーキを設置する場合、ブレーキトルクはモータ定格トルクの100%以下としてください。